

2016年5月6日
株式会社日立製作所

日立の統合チャネルソリューション「FREIA21+」を活用した 西日本シティ銀行の新営業店システムが稼働開始

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO: 東原 敏昭/以下、日立)は、このたび、統合チャネルソリューション「FREIA21+」*(フレイア 21 プラス)を、株式会社西日本シティ銀行(取締役頭取: 谷川 浩道/以下、西日本シティ銀行)の新たな営業店システム(以下、本システム)向けに納入し、2016年4月から全営業店で稼働を開始しました。

* FREIA21+: Financial REtailing Delivery System of Information-Advance21+

本システムの導入により、西日本シティ銀行では店舗窓口における印鑑レスでの取引や各種申込書の自動作成などによるお客さまへのサービスの向上、情報系システムとの連携機能によるセールスの強化、最新の画像認識技術などによる窓口業務の効率化・厳正化が可能となります。

日立は、今後も「FREIA21+」の機能強化や、ATM やインターネットバンキングなどの各種チャネルを活用したさまざまなソリューションを提供し、金融機関の事務効率化や営業活動の強化を支援していきます。

■新営業店システムの主な特長

1. 印鑑レス取引によるお客さまの利便性向上

店舗窓口において、IC キャッシュカードと指静脈認証を組み合わせる本人確認ができる機能を新たに採用しました。これにより、普通預金の引き出しなどの際に印鑑の押印が不要となり、お客さまの利便性を向上します。

2. 申込書自動作成によるお客さまの記入負担軽減と手続き迅速化

勘定系システムなどと連携し、住所変更の手続き書類をはじめとする59種類の申込書に、お客さまの住所・氏名などをあらかじめ印字し、お客さまによる申込書への記入の負担軽減と手続きの迅速化を実現します。

3. 情報系システムとの連携機能によるセールス強化

行員が窓口で各種手続きを受け付ける際、本システムに通帳を挿入するだけで自動的にお客さまの属性や最適な商品・サービスを画面に表示する機能を採用しました。これにより、行員はお客さま一人ひとりに、よりきめ細やかな対応やタイムリーな商品・サービスの提案を行うなど、セールス強化を図ることができます。

4. 最新の画像認識技術の導入による業務の効率化

最新のスタンド型スキャナーと画像認識技術を採用し、手形・小切手、税公金納付書などの画像データやバーコードから、納付先、金額、手数料などを自動で読み込むことを可能としました。また、

画像データを活用し、口座開設手続きの際に従来は窓口行員が行っていたお客さまの住所などの入力作業を、事務集中センターで代行することが可能となります。窓口行員の事務作業のさらなる効率化・厳正化やお客さまの待ち時間の短縮を図ることができます。

■ 日立の統合チャネルソリューション「FREIA21+」に関する Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/FREIA/>

■ 所有商標に関する表示

- ・「FREIA21+」は株式会社日立製作所の登録商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 金融ビジネスユニット 金融システム営業統括本部 [担当:小清水]

〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 1 号

お問い合わせ先:<http://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
